



特集

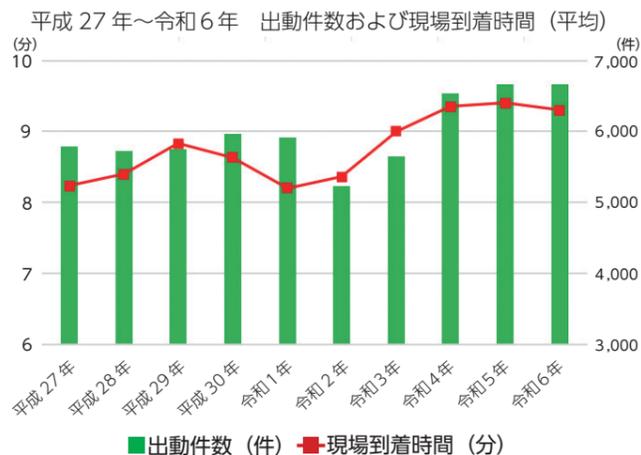
1秒でも早く 救える命を救うために

10月から始まる #7119

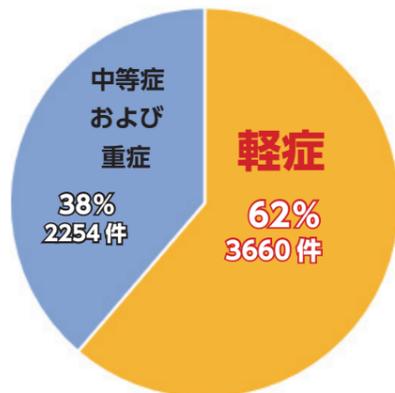
突然のけがや急な体調不良。そんな「もしも」のとき、私たちが真っ先に思い浮かべるのが「119番」への電話です。しかしながら、救急の出動件数が年々増加する中、緊急性のない通報も一定数存在し、急行すべき救急業務に影響を与えていることが社会問

題となっています。彦根もその例外ではありません。今回の特集では、救える命を救うための消防の取組を紹介します。

問 消防本部 警防課 ☎22-0337 ☎22-9427



令和6年 救急搬送人員の割合



119番通報から病院到着まで ～救急の流れ～

彦根市内の119番通報は全て、消防本部の通信指令課で受けています。令和6年の、通報から現場到着までの時間は平均9分18秒。「1秒でも早く。」各持ち場の職員たちは慌てず、落ち着き、でも大急ぎで現場に救急車を急行させます。

1 通報の受付、情報の聞き取り



通報と同時に
出動指令

「どこで？何が？誰が？どうした？」など状況を詳しく聞き取ります。時には応急処置の指示をすることも。

2 救急車が出動！



通報内容をもとに、最寄りの消防署などから救急車が現場へ急行します。

4 適切な処置・病院の選定



現場到着後すぐに傷病者の状態を確認し、電気ショック、酸素投与、止血などの応急処置を行います。

救急車内でも処置を続けながら、選定した病院へ向かいます。

3 現場で観察・処置



5 病院到着

